

ぐるっと首都圏

木桶仕込みの天然醸造

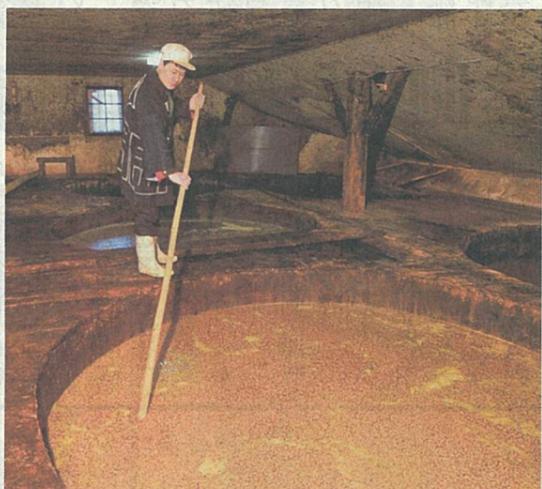


創業230年 商品開発にも力

ユネスコの無形文化遺産に指定された「和食」に欠かせないしょうゆ。東京都町田市のしょうゆ醸造元「岡直三郎商店」は、来年で創業230年を迎える老舗だ。「日本一しょうゆ」のブランドで昔ながらの製法にこだわり、名実共に日本一の味を追い続けている。

東京・町田「日本一しょうゆ」

「しょうゆ」のイメージがあまりわからない商業ビルや飲食店が建ち並ぶ町田市の中心部。市街地を抜けて岡直三郎商店の本社を訪ねると、醸造業らしい三角屋根の付いた巨大な仕込みの木桶が迎えてくれた。



昔ながらの蔵の木桶で職人が醸造する、しょうゆの仕込み作業。群馬県みどり市の大間々工場、岡直三郎商店提供

創業は天明7（1787）年。町田は大正時代、関東や甲信地方各地からの絹の集積地・八王子と輸出港だった横浜を結ぶ「絹の道」の経路上の宿場町だった。同店も以前は町田駅近くに工場を構え、ホームにはしょうゆの香ばしい香りが漂っていたという。

「料理によってしょうゆを使い分けて」と語る岡社長。町田市の旭町で



「料理によってしょうゆを使い分けて」と語る岡社長。町田市の旭町で

◇取扱店◇ 本社・きおけショップ桶忠（東京都町田市旭町1、☎042・722・2024）▽同社大間々工場・直売店（群馬県みどり市大間々町、☎0277・72・1008）▽醤油料理・天忠（町田市中町1、☎042・739・1303）などで扱う。大間々工場では仕込み中の蔵の無料見学もできる。

電子媒体にもご利用ください。新聞地方部 ☎212・0483 inichi.co.jp

カット用のイラストや写真も募集中。掲載分には記念品を贈呈。資料・作品は返却しません。



正夫さん

マスコットが味わえる。隣接する軽井沢高を競う競技用機の変遷をたどる機体群。また、雑誌「子供の科」一之輔、柳家小菊ほか。250



富士山のおもむきになる静岡県裾野市のJAなんすん「ふれあい市」。



静岡県裾野市佐野1-087の1。☎055-9636・35599。午前9時〜午後3時。定休日はないが12月31日〜1月3日は休業。

大和芋とそばの二つの名産を組み合わせ、とろろそばも楽しめるという。同じ敷地内には同JA運営のそば店「五竜庵」があり、打ち立ての新そばに舌鼓を打てる。家庭用の生そば（2食入り700円）も購入でき、12月からは年越しそば用の予約販売も始まる。

人気商品は半年待ちの状態という。岡社長は「しょうゆは料理の名脇役だが、素材の良さを引き立てる主役にもなる。消費者も値段が少し高めでも本場に良いものを求めている」と、手応えを感じている。

Simple recipe for 'カキの照り焼き' (Gyoza Teriyaki). Includes ingredients like gyoza, soy sauce, and cooking instructions.

ツイッター @mainichi\_shuto フェイスブック 毎日新聞 首都圏版

池袋演芸場（池袋駅 同15分）12時半〜金原亭伯楽、アサダ二世ほか17時〜春風亭一之輔、柳家小菊ほか。2500

国立能楽堂1月公演（JR池袋駅 徒歩10分）5906



★新設講座/女性限定！楽しい麻雀教室 初級・中級 佐久間弘行さん。麻雀を全く知らない方にもわかりやすい教え方で進めますので、必ずマスターすることが出来ます。

★1日講座/ねご背を10秒で伸ばす背伸ばし体操 清水真さん。写真。テレビや雑誌で話題の背伸ばし体操。子供から大人まで簡単にできるエクササイズで姿勢を良くします。

Advertisement for '毎日文化センター' (Daily Culture Center) with details on various courses.

Large advertisement for '小豆島ナビ' (Shodoshima Navigation) featuring olives and the slogan '今しか小豆島' (Only now Shodoshima).